



航空自衛隊 第2航空団司令部 人事部

よしもと けいご  
**吉本 圭吾**



**Profile** 31年4月入隊

【階級】 空士長  
【職種】 人事  
【入隊動機】 先輩の母校訪問や、広報官の話聞いて、職業としての自衛隊に魅力を感じたため  
【目標】 早く3等空曹に昇任し、業務の幅を広げ、より一層、組織に貢献できるようにしたい  
【出身校】 恵庭北高等学校

「自衛官を

一生の仕事としたい」

私は、平成31年4月に航空自衛隊に入隊しました。

高校生のときから公務員になりたいと思っていましたが、もともとは警察官になりたいと思っていました。自衛隊との出会いは、地本の広報官の勧めです。その後、航空自衛官になり母校訪問で来てくださった高校時代の先輩から自衛隊の話を知りたりする中で、職業としての自衛隊に魅力を感じるようになりましたが、これを一生の仕事にするかについて悩んでいました。最終的に自衛官候補生受験を決心した理由は、進路の選択肢に幅を残すことができたことでした。

期待と不安を胸に航空自衛隊に入隊した私でしたが、最初は何をしたらいいのか分からず大変でした。しかし、教育隊の同期達と協力して一つ一つ成し遂げていく事が何より楽しかったです。

「自衛官候補生」  
**隊員の声**

自衛官候補生は、一般曹候補生より人数が多く、たくさん仲間に出会えたことが良かったです。訓練や座学・体力錬成などでの辛いことや苦しきことも、たくさん気持ち共有できる仲間が多かった。楽しく乗り越えられました。

教育隊では、自衛官として大切なことをたくさん学びました。人生で初めて本物の銃に触れた射撃訓練では、大きな緊張とともに、これから自衛官として生きていくんだという強い自覚を持ちました。また、教育隊の中隊長が言っていた「災害時などは自分の家族が心配になるかもしれない。直接自分の手で助けに行けないかもしれない。もしそんな状況になっても自衛隊が全力で助けに行くから、その時は君たちも仲間を信じて今近くにいる誰かの家族を全力で助けに行け。」という言葉もとても印象に残っています。自衛隊に対する期待の大きさを実感するとともに私自身も任務の重要性を認識し、考え方が変わりました。

私は今、隊員の経歴管理や人員を掌握する仕事を行っており、デスクワークがメインです。自衛隊と聞くと一日中体を動かして



【デスクワークに勤しむ吉本土長】

いる印象を持たれている方も多いかもしれませんが、私のように事務をしている隊員も沢山いるということも知ってもらいたいです。運動が苦手な方でも問題ありません。

入隊当初は、自衛官を一生の仕事にするかどうか迷っていた私でしたが、今では早く3等空曹に昇任し、一生の仕事にすることを目標にしています。昇任することで担当できる業務の幅を拡げ、より一層、組織に貢献できるようにしたいと思います。

自衛隊の受験を迷っている皆さん。入隊前は不安や緊張があると思いますが、それはみんな同じです。私もそうでした。心配な事はあるかもしれませんが、自衛隊には同期や仲間がいます。お互いに支えあい、協力して日々を過ごすことでいつの間にか心配もなくなり、自信を持ってようになっていくので安心してください。自衛隊が自分に合っているか一定期間試してみたい。そんな方に自衛官候補生はオススメの制度です。皆様の入隊を心からお待ちしております。